

GTR リトリート 2021

日程：2021年10月15日（金）9:00～17:30 @オンライン

プログラム（暫定）

- | | |
|-------------|---|
| 9:00～ 9:10 | 開会挨拶、趣旨説明 |
| 9:10～11:20 | 教員による研究シーズ紹介：休憩含む（※1） |
| 11:20～12:20 | D1,D2 生による研究紹介（※2） |
| 12:20～13:00 | 交流会（※3） |
| 13:00～14:00 | 昼食・研究紹介投票 |
| 14:00～15:00 | 特別講演
高橋 政代（株式会社ビジョンケア 代表取締役社長）
「網膜再生医療開発物語」 |
| 15:00～16:50 | GTR M2,D1 生による異分野融合コンテスト発表会（※4） |
| 16:50～17:10 | 休憩・投票 |
| 17:10～17:30 | 表彰式、閉会の挨拶 |
| 18:30～ | 懇親会@oVice |

（※1）教員によるシーズ紹介（9:10～11:20）

1. 座長：有安 真也（理学研究科 物質理学専攻（化学系） 助教）
前川 絵美（理学研究科 生命理学専攻 助教）
「蚊の視点から”美味しい”を科学する」
2. 座長：森田 真布（理学研究科附属菅島臨海実験所 助教）
小鹿 一（生命農学研究科 応用生命科学専攻 教授）
「天然物と微生物ホルモン」
3. 座長：天池 一真（物質科学国際研究センター 助教）
山本 芳彦（創薬科学研究科 基盤創薬学専攻 教授）
「含フッ素有機化合物合成のための分子ツールの開発」
4. 座長：大城 宗一郎（理学研究科 物質理学専攻（化学系） 講師）
三宅 由寛（工学研究科 有機・高分子化学専攻 准教授）
「ピリジン縮環 π 共役化合物の合成と機能」
5. 座長：原 光生（工学研究科 有機・高分子化学専攻 助教）
山田 泰之（理学研究科 物質理学専攻（化学系） 准教授）
「分子組織化学の発想で超強力酸化触媒を創る」
6. 座長：橋谷 文貴（物質科学国際研究センター 助教）
高橋 洋平（トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任准教授）
「植物における水ストレスや二酸化炭素の環境応答機構」

7. 座長：大西（小川） 真理（理学研究科 生命理学専攻 助教）
森田（寺尾） 美代（基礎生物学研究所 植物環境応答研究部門 教授）
「重力屈性における重力センシングとシグナリング機構」
8. 座長：太田垣 駿吾（生命農学研究科 植物生産科学専攻 講師）
西内 俊策（生命農学研究科 植物生産科学専攻 助教）
「農業分野におけるリモートセンシングの利用」
9. 座長：山本 瑛祐（未来材料・システム研究所 助教）
伏谷 瑞穂（理学研究科 物質理学専攻（化学系） 准教授）
「極紫外レーザーによる反応追跡と制御」
10. 座長：蟹江 慧（創薬科学研究科 基盤創薬学専攻 助教）
安井 隆雄（工学研究科 生命分子工学専攻 准教授）
「異分野融合研究を推進するナノデバイス」

(※2) 学生によるシーズ紹介（11:20～12:20）

1. 大本 敬之（生命農学研究科 応用生命科学専攻 D2）
「 α 2,6-シアル酸転移酵素遺伝子のノックアウトメダカの樹立と表現型の解析」
2. 栗本 道隆（創薬科学研究科 基盤創薬学専攻 D1）
「生体内合成化学を用いた新規がん治療法の開発」
3. 米村 開（理学研究科物質理学専攻（化学系） D2）
「シトクロム P450BM3 の酵素活性を改変するペプチド性小分子の開発」
4. 東 秀憲（工学研究科 生命分子工学専攻 D1）
「DNA を利用した高効率光捕集の構築」
5. 伊藤 正樹（工学研究科 有機・高分子化学専攻 D2）
「ラセミ体からなるポリ（ピアリアルイルアセチレン）誘導体のラセン構造の誘起と記憶、不斉有機触媒への応用」
6. 成田 皓樹（理学研究科物質理学専攻（化学系） D1）
「ホウ素ドーブ多環芳香族炭化水素の構造物性相関と自己集合特性」
7. 劉 思雨（工学研究科 有機・高分子化学専攻 D2）
「Encapsulation of Antiaromatic Norcorrole Ni(II) Complexes in a Water-Soluble Micellar Capsule」
8. 片桐 佳（工学研究科 有機・高分子化学専攻 D1）
「キラル鉄(III)塩を開始剤に用いる高エナンチオ選択的ラジカルカチオン [2+2]環化反応の開発」
9. 坂井 美佳（理学研究科物質理学専攻（化学系） D2）
「元素の特性と励起状態の理解に基づく機能性発光材料の創製」

(※3) 交流会 (11:20~12:20)

Zoom のブレイクアウトルームを利用し、参加者が興味をもった学生とビデオ会議やチャットを通して面談および研究ディスカッションをする時間です。今年度は、より活発な議論が展開されるように、Slack の利用も予定しています。

(※4) M2,D1 生による異分野融合コンテスト発表会 (15:00~16:50)

異なるバックグラウンドの学生がチームを組み、短期間で異分野融合研究提案を立案し、発表します。この取り組みでは、融合研究を行う上で重要な発想力、研究立案力、コミュニケーション力、プレゼン力などを向上させることを目的としてきます。各チームのプレゼンでは質疑応答の時間も設定されています。ぜひ積極的にご質問をお願いします。